



PA総会・授業参観

【1校時 PA総会】

第1回「PA総会」が5月9日(土)に開催されました。会場に用意した椅子が足りなくなるほど大勢の保護者の皆様にご出席いただきました。(出席者234名:出席率全体の66%)前半は校長よりこれからの学校運営などの説明を行い、後半はPA会長をはじめ役員の方からPA活動の説明と新しい役員の紹介がありました。そして、長神真梨子会長の退任と、大下泰典様の新会長就任が発表されました。



PA総会

【2校時 授業参観】

PA総会に引き続き、「授業参観」がありました。保護者の皆様の参観に、子どもたちだけではなく担任も緊張気味の授業参観でした。

今年度初めての参観になる小学1年生は、おうちの人に頑張っている姿を見せようと張り切って学習していました。



授業参観(小学部2年生)



授業参観(小学部5年生)



授業参観(中学部3年生)

【3校時 学級懇談会・児童集会】

懇談会にご出席いただきありがとうございました。(出席率:全体の75%)

懇談会中、小学部の児童は、集会活動をしていましたので紹介します。



小学部1~2年生/AVルーム



小学部3~6年生/体育館

小学部1~2年:「補習校クイズ」や「一寸法師の読み聞かせ」

小学部3~6年:「バースデーグループ」づくり「ジャンケン列車」

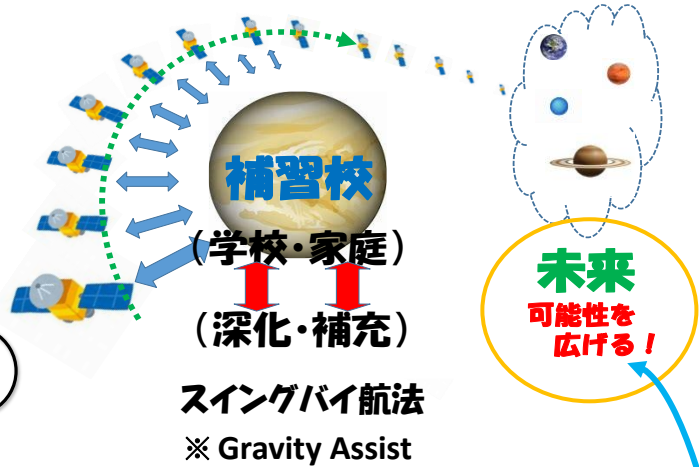
シンガポール日本語補習授業校がめざすもの

令和8年度からのシンガポール日本語補習授業校の運営について、保護者、そして教職員に私のイメージを基にしてPA総会や研修会で説明をしました。

補習校の役割は、宇宙探査衛星が遠くの星にたどり着くために利用される「スイングバイ航法」に例えるとイメージし易いと考えました。

スイングバイ航法は、惑星や衛星などの「**重力**」と「**公転運動**」を利用して、探査機の進む向きや速さを変える技術です。エンジンをあまり吹かずに軌道変更や加速減速ができるため、**燃料を大きく節約**できるのが最大の特徴です。

①



※スイングバイのシステムを補習校に当てはめ

②

てみると・・・

補習校のシステムは、教育資源としての「**教師の資質や能力**」と「**家庭の教育力**」を利用して、日本語を通じて子どもを育む施設です。国語という教科に特化した授業ができるため、**効率的に日本語の教育**を行うことができるのが最大の特徴です。

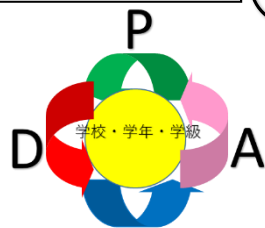
③

年間40日の授業日数、各学年120時間の時数を効率的に使う。

常に「PDCA サイクル」を意識して教育活動を実施する。

⑤

P : Plan 計画
D : Do 実行
C : Check 振り返り
A : Action 改善



※目指す学校像は・・・

⑥

- **出会い**は「**素晴らしい(C)**」という想いにあふれる学校
- 日本のことが学べて「**楽しい(C)**」学校
- 日本語が使えて「**うれしい(C)**」学校

⑦

今年度から本校は3つの「C」を大切にする学校を創造します。

